

# CITIZEN

モバイルプリンター

Android MSRモジュールプログラムマニュアル

## AndroidMSRクラス

Ver 1.04

**シチズン・システムズ株式会社**

# 履歴

バージョン	対象 ライブラリ	説明
1.00	1.051	公開
1.01	1.052	記述漏れの関数を追加releaseInstance, startReader, stopReader
1.02	1.056	startReader, stopReaderを削除 削除に合わせて、サンプルコードを改変
1.03	1.070	androidMSRメソッドを追加 削除してあったメソッドの説明を消去
1.04	1.080	表紙のロゴを変更

# 1. はじめに

この「Android MSRモジュールプログラムマニュアル」では、Androidモバイルアプリケーションの開発に必要なJarパッケージファイルから得られるメソッドについて説明します。

## 2. メソッド

AndroidMSRクラスで定義されています。

### 2.1. AndroidMSR

この関数は、USBPortConnectionのためだけのコンストラクターメソッドです。

AndroidMSR(DeviceConenction connection)

[パラメーター]

\* connection

- USBPortConnection

### 2.2. getInstance

この関数は、インスタンスを取得するために使用されます。

AndroidMSRクラスは、Singletonパターンで作成されました。

AndroidMSR getInstance()

[戻り値]

AndroidMSRクラスインスタンス

### 2.3. releaseInstance

この関数は、getInstance()で生成されたインスタンスの削除のために使用されます。

void releaseInstance()

### 2.4. setHandler

この関数は、MSRデータをUIに送信するためのハンドラの設定に使用されます。

void setHandler(Handler handler)

### 2.5. getHandler

この関数は、MSRデータをUIに送信するためのハンドラの取得に使用されます。

Handler getHandler()

[戻り値]

Handler

## 2.6. isMSRStatus

この関数は、現在のプリンターのステータスがMSRモードであることを確認するために使用されます。

boolean isMSRStatus()

[戻り値]

true :現在のステータスはMSRモードです。

false :現在のステータスは標準モードです(非MSRモード)。

## 2.7. readMSR

この関数は、標準状態からMSR動作可能状態に変更し、MSRデータ伝送の要求を引数に従って設定します。

Int readMSR (int SelectTrack)

[パラメーター]

\* SelectTrack

SelectTrack	MSRトラック
0x31[0011 0001]	トラック1
0x32[0011 0010]	トラック2
0x33[0011 0011]	トラック1、2
0x34[0011 0100]	トラック3
0x36[0011 0110]	トラック2、3
0x38[0011 1000]	トラック4
0x3B[0011 1011]	トラック1、2、4
0x3E[0011 1110]	トラック2、3、4

[戻り値]

CMP\_STS\_MSR\_READ :関数が適切に処理されると、この値が戻されます。

CMP\_STS\_NORMAL:関数がMSRモードを変更できなかった場合に、この値が戻されます。

## 2.8. cancelMSR

この関数は、MSR動作可能状態を標準状態に戻すために使用されます。

void cancelMSR()